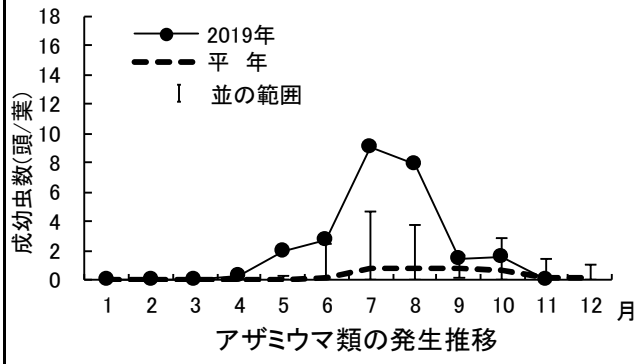
平成　31 年度　　12 月予報

作物	マンゴー	地域	沖縄群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
予報	12 月の発生量（平年比）	並	
	11 月からの増減傾向	↘	
予報の根拠	11 月の発生量（平年比）	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↘）	

調査結果

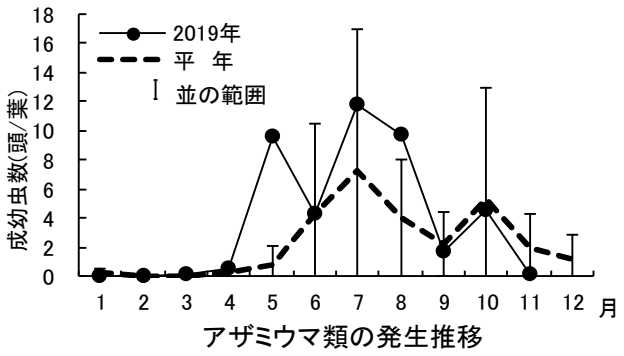
（見取り調査）

〈中央値〉



アザミウマ類の発生推移

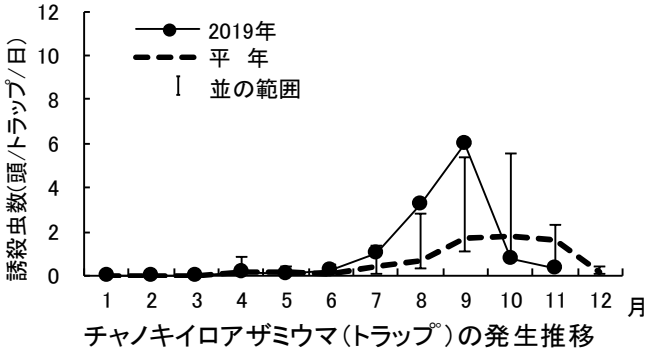
〈平均値〉



アザミウマ類の発生推移

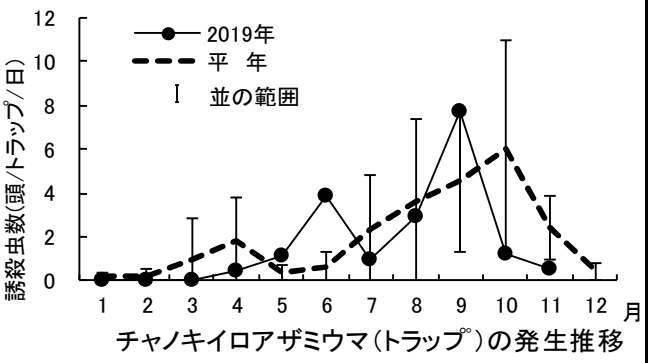
（トラップ調査）

〈中央値〉



チャノキイロアザミウマ(トラップ)の発生推移

〈平均値〉



チャノキイロアザミウマ(トラップ)の発生推移

防除のポイント

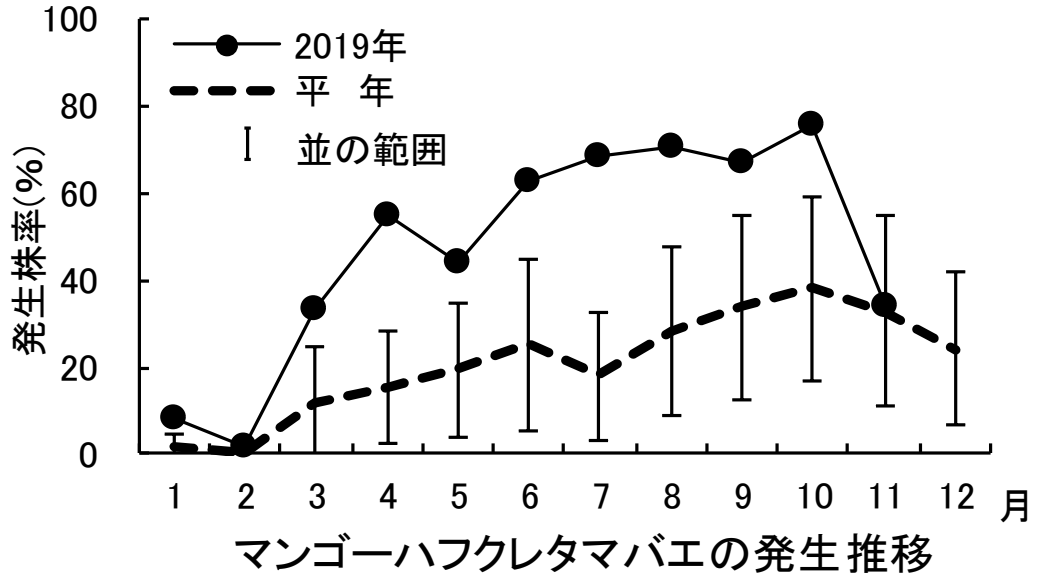
・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ナガエコミカンソウ

平成　31 年度　　12 月予報

作物	マンゴー		地域	沖縄群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ			
予報	12 月の発生量（平年比）	並		
	11 月からの増減傾向	↘		
予報の根拠	11 月の発生量（平年比）	並		
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↘）		

調査結果



- 被害新梢率：19.9%
- 発生施設率：75.0%（平年44.4%）
- 病害虫防除員報告：中発生（本島北部）

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

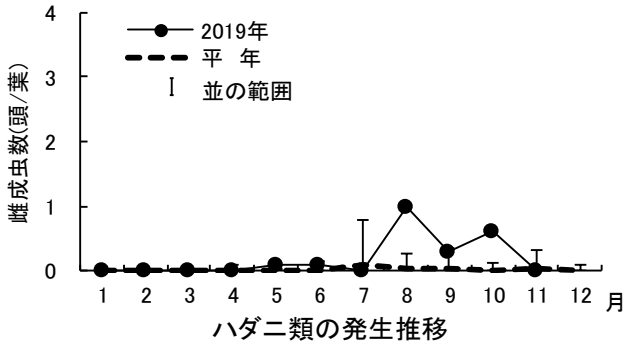
・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

平成　31 年度　　12 月予報

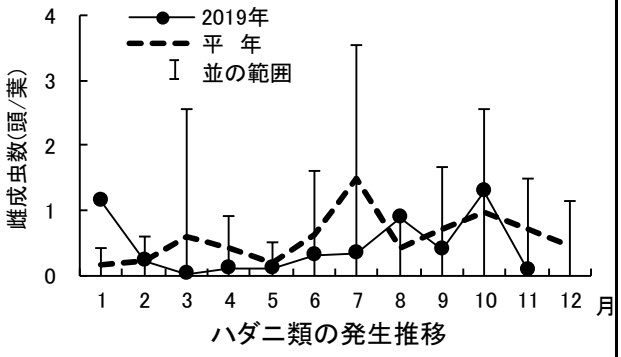
作物	マンゴー		地域	沖縄群島
病害虫名	③ ハダニ類		シュレイツメハダニ	
予報	12 月の発生量（平年比）	並		
	11 月からの増減傾向	↘		
予報の根拠	11 月の発生量（平年比）	並		
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↘）		

調査結果

〈中央値〉



〈平均値〉



- 発生種：シュレイツメハダニ
- 発生施設率：37.5%（平年51.5%）
- 新梢での寄生雌成虫数：0頭

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症